

# 新婦人しんぶん

## 新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせませす。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

## 今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会スポット
- 3面 読者のページ/まんが/短歌
- 4・5面 COP28の成果と課題/ジェンダー講座/ホットライン
- 6面 被災地の声/母の歴史
- 7面 新婦人の活動/主張/地域で支える



千葉・船橋市 大野弘子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

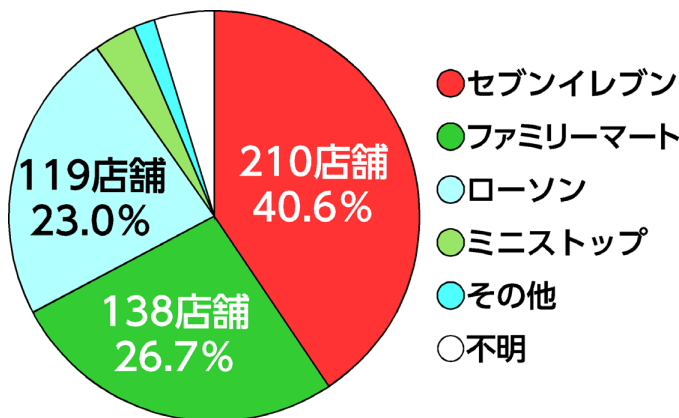
# コンビニに「成人誌」が復活？

## 全国のコンビニ517店舗3日間緊急プレ調査

2023年12月10、11、12日実施

置いてなかったのは24店のみ

コンビニ調査の「声」より  
 ・公園敷地内のコンビニに、こんなにたくさん置いてあり驚きです。  
 ・ビジネス誌と並んで、ずらっとありました。他の雑誌を手にとろうとしても、目に入ってきてます。  
 ・生活の場で堂々と売られていることに、がくぜんとした。



## 新婦人が緊急調査

全国のコンビニエンスストア(以下コンビニ)からなくなったはずだった「成人誌」が、最近、戻ってきていませんか。インターネット報道番組「ポリタス」から新婦人に出演依頼がきたことをきっかけに、「コンビニに「成人誌」が置かれているかどうか緊急調査をおこないました。

調査は、2023年12月10〜12日にインターネットを使って実施し、全国からたちまち517店舗の実態(左)が報告されました。雑誌の有無、陳列のようすのほか、次のような感想が…。

○だれもが利用するコンビニで、女性の尊厳や品格をおとしめるものが公衆の場でも当たり前になり、消費されている、性暴力を「娯楽」として容認する風潮に思えてなりません。女性に対する性



子ども向け商品と並んで「成人誌」が(写真は加工)

## さっそく大手3社へ

調査結果をもとに、1月、中央本部は業界大手のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの本社を訪ね、各社担当者と懇談、要請しました。

各社とも、各都道府県の青少年育成条例で示される「成人誌」は取り扱い

暴力を容認させ、犯罪だという意識を低くすると思う。  
 ○今まで嫌だけど、なんとなく過剰に反省してしまっている。これが当たり前前の世の中だと、子どもたちに伝えたくない。

## ポリタスTV に新婦人が出演！

(2面へ)

ポリタスTVとは…インターネット報道番組。主にYouTubeで公開。今回のテーマは前後編で、1月20〜28日の無料期間中このべ1万5000人が視聴。現在有料配信中



番組に出演した西川副会長(左)と池田次世代と子ども教育部長

2024年新婦人「春の行動」  
(3月8日〜4月10日)

(2面、7面参照)

で当たり前前の存在です。一方で、インターネットなどデジタル媒体の普及の影響を受け、コンビニ雑誌コーナーの売り上げは「2018年と比較して半減(ローソン)など、減少傾向は顕著です。しかし、中高年層の雑誌の売り上げはほぼ維持されており、いわゆる「成人誌」の購入層と年代がほぼ重なるという見方があります。

2018〜19年にかけて新婦人の運動もあって、一度はコンビニから姿を消したはずだった「成人誌」が、「内容が過激になればなるほど売れる」というのが出版社の言い分(ローソン)と、店頭に戻ってきている驚きの現状が見えてきました。

現在、コンビニ各社は企業として、持続可能性を追求しています。SDGs推進の担当部署を置き、「まちの安全・安心の拠点」としてのとりくみや、「子ども店長」など小中学生の職業体験の受け入れもおこなっています。雑誌コーナーの現状について、業界最大手のセブンイレブンは、「問題がないわけではないが、小売店の立場から出版社にいわゆる『成人誌』は販売できない、と圧力にならないように配慮しており、取り扱いをやめることはしない」と回答。

新婦人側からは調査に寄せられた、女性の尊厳をおとしめる表紙の「成人誌」が並ぶことへの拒否感、嫌悪感の声を伝え、「だれかの尊厳を踏みつけてまで利益が優先ですか」と、さらに質問しました。(2面へ)

